

高等学校 美術科学習指導案

埼玉県立大宮光陵高等学校

日時： 令和4年12月5日（月）1,2 限

対象：1年1,2,3組（美術Ⅰ選択）34名

場所： デザイン室 授業者：武多美那

1 題材名「ダンボールをいかして夢のある建物を作ろう！」

【美術Ⅰ】 A 表現(1)絵画・彫刻ア（ア）（イ）、B鑑賞(1)鑑賞ア（ア）、〔共通事項〕(1)ア、イ

2 題材について

(1) 生徒の実態

普通科1～3組（男子22人、女子12人）のクラスである。まじめに課題に取り組める生徒が多いが、中には、集中して追求することが苦手な生徒がいる。また、他者と意見を言い合うことや、計画性を持って0から何かを作り上げ自分に自信を持つ活動経験が少ないように感じる。本課題を通して、「自己と向き合い発想を生み出すこと、試行錯誤しながら1から大きな作品を創造すること、自他を認め意見を言い合うこと」に喜びを感じてほしいと考える。

(2) 本題材を指導するに当たって

本題材は、夢のある建物を発想することからはじまる。素材については伝えず、自由に発想し夢のある建物を描く。そこからダンボールで作ることを伝え、どうしたら描いた建物を立体にできるのか検証を重ねて創造することが求められる課題となっている。また、「素材と作品サイズに縛りがあること、接着はボンドのみ、4階以上の構造」と条件が設定されており、様々な知識や技能を総合して作り上げることも求められる。事前学習として、ダンボールを知る研究活動と、平面から立体をきれいに作るグループ活動を取り入れている。事前学習を行うことで、素材の可能性に気づき、制作のプロセスを学び、より高い完成度と意欲をもって制作に取り組める。

毎授業の初めに条件と評価ポイント（①計画的・意欲的②素材の特徴を活かす③夢のある発想（テーマ）を工夫して形にする④完成度（美しさ・構造の強さ・細部へのこだわり））を確認し、本時は何を目標にどう取り組むのか計画を立て制作に取り組む。終わりには振り返りを記入させ次回に繋げられるようにする。中間鑑賞会では、自己評価とグループで作品についてアドバイスをし合い、今後の見通しをたてる。中間鑑賞会を行うことで、新しい発想が生まれ更に工夫しようという意欲を持って制作に取り組むことをねらう。最後の鑑賞会では、グループで作品を直に見ながら鑑賞者にアピールする。鑑賞者は質問をしながら審査表に記入をする。3つの視点（上記②③④）を審査項目にすることで、深く作品を鑑賞できる。評価ポイントを明確に示し、「目標、制作、鑑賞会、指導、評価」に取り組むことで評価の3観点を高められると考える。

3 目標及び評価規準

(1) 題材の目標〈科目の目標と内容構成等との関連〉

- ・造形の要素の働きを理解したり、素材、形の造形的な特徴などを基に、条件を抑えながら全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりする。
- ・意図に応じて素材や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し主題を追求して創造的に表現する。 〈知識及び技能〉
- ・夢から主題を生成し表現形式の特性を生かし、形の面白さや構造の強さ、素材の生かし方について創造的な表現の構想を練る。
- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・計画を立てながら主体的に創造活動に取り組もうとする。
- ・主体的に作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の表現したい建物などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 造形の要素の働きを理解したり、素材、形の造形的な特徴などを基に、条件を抑えながら全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりしている。 技 意図に応じて素材や用具の特性を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	発 夢から主題を生成し表現形式の特性を生かし、形の面白さや構造の強さ、素材の生かし方について、創造的な表現の構想を練っている。 鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	態表 計画を立てながら主体的に創造活動に取り組もうとしている。 態鑑 主体的に作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の表現したい建物などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 指導と評価の計画 (全20時間扱い) ○指導に活かす評価 ◎学習状況を記録に残す評価

時間	●学習のねらい・学習活動	評価の観点、評価方法等						備考
		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		知	技	発	鑑	態表	態鑑	
0	1.発想や構想（夏休み課題） ●主題を生成し構想を練る。 ・夢のある4階以上の建物について考察し、主題を生成する。主題からアイデアを膨らませ階層の形として表現する。コンセプトやタイトル、細部の詳細を文章で説明し完成予想図として1枚にまとめる。	○ ◎ 観察 対話 表現		○ ◎ 観察 対話 表現				「知識」「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で生徒の学習状況を把握し指導に活かし記録に残す。 「主体的に学習に取り組む態度（態表）」の視点で生徒の学習状況を把握し全授業を通して適宜記録に残す。
1.2	2.事前学習1（2時間） ●素材の特徴について、課題を通して研究する。 ・課題：1～10をつくる。 ・条件を示し、素材について深く考察する。（個人・グループ） 〈条件〉①全部違う作り方 ②いくつか立体的に作る ③球を感じるように作る							「知識」「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で生徒の学習状況を把握し指導に活かす。
3.4	3.事前学習2（2時間） ●図→立体を作る事を理解する。 ・三面図を学び、グループで協力して、図からの確に立体に起こせるようになる。	○	○	○				「知識」「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で生徒の学習状況を把握し指導に活かす。
5～12	4.制作（8時間） ●事前学習で学んだことを基に創造的に制作する。 ・完成図を基に素材を生かしながら創造的に作成。	◎ 観察 対話 表現 記録	◎ 観察 対話 表現 記録	◎ 観察 対話 表現 記録		◎ 観察 対話 表現 ワークシート 記録		「知識・技能」「思考・判断・表現（発想や構想）」の視点で生徒の学習状況を把握し記録に残す。

13.14	5.中間鑑賞会（2時間） ●相互鑑賞を通して作品を振り返り再度計画を練る。 ・個人での自己評価とグループでの意見交換を行う。テーマを明確にし、今後の計画を練る。 ・ガウディの鑑賞を通して、ねらいを持つこと細部のこだわりについて理解し制作につなげる。		○			◎ 観察 対話 表現 ワークシート 記録		「技術」の視点で生徒の学習状況を把握し、指導に活かす。
15～18	6.制作（4時間）	◎	◎	◎				4.制作と同上
19.20	7.鑑賞会（2時間） ●生徒作品を鑑賞し、見方や感じ方を深める。 ・3つ視点から、作者は良さを伝え、鑑賞者は、良さに気づき意見交換を行う。				◎ 観察 対話 発表 ワークシート	◎ 観察 対話 発表 ワークシート		「思考・判断・表現（鑑賞）」「主体的に学習に取り組む態度（態度鑑）」の視点で生徒の学習状況を把握し記録に残す。

5 本時の学習（19・20/20時）

(1) 目標

- ・造形的なよさや美しさを感じ取り、意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- ・主体的に作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の表現したい建物などについて考え、見方や感じ方を深める
鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
〈学びに向かう力、人間性等〉

(2) 準備

- ・教師：鑑賞用プリント（別紙参照）
- ・生徒：作品・教科書（バインダー用）

(3) 展開

過程時間	学習活動 「予想される生徒の具体的な姿」	指導の工夫	評価と手立て 【観点】：評価規準（評価方法） ◎：十分満足できる状態 ◆：B評価に達しない生徒への手立て
導入 25分	展覧会開催！ 自分の作品の魅力を伝え、みんなの作品の良いところを見つけよう！ 学習のめあて ・ 作者は、作品の良いところを具体的にアピールする。 ・ 鑑賞者は、3つの視点で審査し質問しながら良い所を見つける。		
	・活動の見通しをもち、学習のめあてを理解する。 ・キャプションの記入、机の上に作品展示、発表の準備をする。 ・自身のグループと発表順について理解する。 ・グループで集まり自己紹介をして班長を決める。	・鑑賞者は3つの視点（作る際の評価のポイント）から審査することで、作品を深く見られるようにする。 ・キャプションに記入することで自身の作品の良さをまとめ発表の準備をすることを伝える。 ・スムーズな進行のために6つ（!?☆♡△○）のグループと発表順を、プリントに記載しておく。 ・自己紹介で、コミュニケーションをとることで、発表の場を和ませる。	【思・判・表鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 （キャプション・審査表自分の箇所） ◎3つの視点を抑え具体的に記入できている。 ◆例を参考にしながら、評価のポイントを抑えること、どういう目的で、何を、どのように作ったのか記入するよう個別にアドバイスを行う。

展開 70分	鑑賞1 グループごとに、1人3分間で、発表と質問をしい、作品を鑑賞する。(20分) 「断面を活かして木の質感を表現していて良いですね。」 「動きのある形を保つためにどのように強度を出しましたか？」 鑑賞2 3つのローテーションで発表をする。鑑賞者は自分の属する2列は必ず発表を聞いて回る。(30分) 鑑賞3 鑑賞していない作品を、キャプションを基に鑑賞する。(20分) 「アイデアは5、接着面がきれいではないので完成度は3だな」 ・自分にとって魅力的だと感じた作品を3つ選ぶ。	・鑑賞1では、メンバーと発表順が決まっているので作品の細部を確認しながら、鑑賞と発表を行うように促す。 ・3つの視点から質問し、理由とともに具体的に記入するよう助言する。 ・鑑賞2では、♡！が発表の時にそれ以外は鑑賞者となり、各作品を回る。多くの作品を鑑賞すること、相互に意見を交換し細部まで鑑賞することを促す。 ・作品についてアピールするよう促す。鑑賞者は、質問や良い所について積極的に伝えるように促す。	【態鑑】 主体的に作品の造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の表現したい建物などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。(審査表・観察・発表・対話) ◎主体的に作品の良さを伝えている。相手の作品の良さ感じながら質問や感想を伝えている。 ◆班長から班員に意見を求めるように促す。個別に声をかける。
整理 5分	・制作や鑑賞を通して、気づいたこと、学んだこと、感想を記入する。	・自己の作品の良さや他者の良さには様々なものがあることに気づけるようにする。 ・学べたこと、自身の作品や取り組みの良かったところ、次への課題を明確にできるように、振り返るポイントを伝える。	【思・判・表鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。(ワークシート) ◎3つの視点を抑えて、気付いたこと、学んだことを、具体的に言語化できている。 ◆3つの視点から質問し、理由とともに具体的に記入するよう助言する。

6 補足

(1) 鑑賞会場の設定

- ・机上にキャプションと作品を設置し展覧会のようにし、担任の先生を招待し発表に参加してもらう。

(2) 配布プリント（一部）※中間鑑賞会プリント・本時の鑑賞会プリントは別紙参照

①課題・日程、立体図から三面図の表し方の記入例（3.事前学習2で配布）

「ダンボールをいかして、夢のある建物を作ろう！」

ダンボールはものを運ぶ時にも便利で、私達にとって身近な素材です。木よりも簡単に切れ、紙よりも強い特徴を持っています。その特徴をいかし夢のある建物を作りましょう。

条件

- 建物が4層以上の建物
- 建物全体にテーマがある
- 各層に特徴がある
- 大きさは底辺が35cmの正方形、高さ70cm以内とする（地面を作っても良い）
- 材料は、ダンボール7.5cm正方形としできる限り無駄なく使い切る（片栗波のダンボールは補助として使用可）
- 着色はしないで、ダンボールの特徴をいかすこと（接着剤はボンドのみとする。マスキングテープを貼くまでの補助で使用する）

制作の流れ（プロセス）

- ① ダンボールを知る（数字を作ろう）
- ② 三面図を学ぶ（立体を作ってみよう）
- ③ 製作開始～（必要に応じて試作）
- ④ 完成・作品タイトルをつけて鑑賞会

【日程】

日付	内容	取り組めたこと・反省点・宿題
例	ずんすんレナ1～10は作り	35cmの正方形のダンボールを4層に重ねて、ここに自分の夢を表現しよう！ 例：ずんすんレナ1～10は作り、夢のある建物を作ろう！
9/26	三面図	三面図の書き方を学び、自分の夢を表現しよう！
10/3	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
10/10	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
10/17	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
10/24	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
10/31	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
11/7	中間4～7（例）	自分の夢を表現しよう！
11/21	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
11/28	制作開始～（特例）	自分の夢を表現しよう！
12/5	鑑賞会	自分の夢を表現しよう！

立体図から三面図の表し方

1年組 番 氏

立体図 / 平面図

三面図 / 正面図 側面図

内注の番号、平面図を参照できる

線の種類

実線 ——— 見える

点線 - - - - - かくれている

一点鎖線 - · - · - 中心線

練習してみよう！ 立体図を三面図で書いて下さい。※フリーハンドでOK！

①

②

中間チェック✓「ダンボールをいかして、夢のある建物を作ろう！」

美術 I

1 今の所の、制作について振り返りをしよう！(✓、○、記入をしましょう)

□ 条件はすべてクリアしている

していない → どこがしていないかや懸念事項 断面が見えている

● 計画的・意欲的に取り組んでいる

1 2 3 4
→ 5
→ よく取り組んでいる

その理由

中間期間までに2階まであらかじめ完成していて、先を考え作業しているため

● 段ボールの特徴を活かしているか

1 2 3 4
→ 5
→ よく取り組んでいる

どこができているか・どこが足りないのか

段ボールのボコボコしている面をいかし、階段や階段として使っている。

● 夢のある発想をし、形にしているか

1 2 3 4
→ 5
→ よく取り組んでいる

どこができているか・どこが足りないのか

4階に動きをつけ仕組みも考えられている。製作には取り組めていない。

● 完成度(美しさ・構造の強さ・細部へのこだわり)は高いか

1 2 3 4 5
→ 5
→ よく取り組んでいる

どこができているか・どこが足りないのか

思った通りの形にできているが断面を隠せていない。

2 班で作品について発表しあおう！(ひとり2分) 聞いている人はアドバイスを付箋に記入しよう

発表者は自分の制作の悩みを相談したり、聞いている人は、どうやって作っているのか聞いてみよう！

3 ガウディの建築鑑賞 メモ欄

自然の造形を大切にした建築が多い。

カセル公園の建物をもっとくした装飾は、普通では思いつかないことだと思った。

サグラダ・ファミリアが100年前から今にかけてずっと作られているとは知らなかった。

4 今後の制作に向けて、どう取り組むのか具体的に記入しましょう！

断面にうまい段ボールをはってきれいにする！

→ 製作時間を自分で決める。



/ 年 組 氏名

《鑑賞会》美術 I

作品置き場

ダンボールをいかして、夢のある建物を作ろう！

夢のある建物が建ちました！立体的な作品は、平面とは違った苦労があったのでは
ないでしょうか。それぞれの思いのこもった、こだわりのある作品を鑑賞していきましょ
う。

【鑑賞の準備】

・作品の制作意図・こだわったポイントを丁寧に記入しよう！

【作品について】

1 年 組 番 氏 名

タイトル： 未来の宇宙ファミリーハウス！

制作意図（全体のテーマ・各階層の説明）

「宇宙に自分の家族の家を建てる」をテーマに各階層をパイプでつなぎ、
魚かきょうになっている。2階層を球型のリビングとして浮きながら集まる。

こだわったポイント（読んでわかるように言葉で説明すること）

球型にするためボールを参考に構造の強さを出しました。

各階層が動き、バスルームでこぼさずいかにしながらトイレ完結が1つ
違うデザインになっていることにこだわりました。

☆ 3

1

年 組 番 氏 名

タイトル:

制作意図（全体のテーマ・各階層の説明）

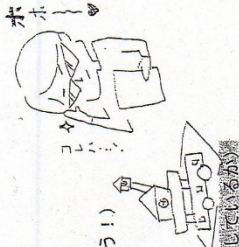
こだわったポイント（読んでわかるように言葉で説明すること）

● 授業の最後に、制作や鑑賞会を通して、気づいたこと、学んだこと、感想を書きましょう。

鑑賞会 「ダンボールをいかして、夢のある建物を作ろう！」

【審査のポイント】

- 作者がいる場合は、作品についての説明をしっかりと聞く！（質問してみよう！）
 - 作者がいない場合は「作品について」をしっかりと読む！
 - 後ろも上も横も中もすべてチェック！
 - 完成度（美しさ、構造の強さ、細部へのこだわり）は高いか
アイディアの面白さ、夢のある発想をいかにしているか、そのアイディアをダンボールで形にしているか
素材（ダンボール）の特質をいかしているか、の視点で見る
 - 「いいね！」の気持ちを大切に、良いところやこだわった所を発見する気持ちで鑑賞する！
- ★あなたにとって、魅力的な建物を3つ選んでください！ 上位7名程度順下に展示します★



番号 番 番

番号	完成度	アイデア	素材	作品の良いところ（作者に良いところを直接伝えよう！）
例	5	5	4	宇宙の向こうから、球型のビルという発想が面白く、形も美しい！！
自分				
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				

番号	美しさ	アイデア	素材	良いところを一瞥！
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				

1年 組 番 氏名